



若宮 防衛副大臣来沖



若宮副大臣と佐喜眞宜野湾市長との会談



普天間飛行場の東側沿い返還予定地を視察する若宮副大臣

目次

CONTENTS

沖縄における施設・区域の返還に関する日米共同報道発表	2
若宮防衛副大臣の宜野湾市・浦添市訪問	3
若宮防衛副大臣の石垣市訪問	4
KC-130輸送機の移駐完了後の飛来状況	5
米軍再編に係るグアム等への航空機の訓練移転	5
在沖米軍が実施している生活指導巡回の視察	6
沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会	6
ノルウェー国防大学研究員が研修	6
防衛施設周辺対策事業	7
航空自衛隊那覇基地 エアフェスタ2015開催	8
2015嘉手納スペシャルオリンピック大会開催	9
県内各地でクリスマスイベント開催	10
お知らせ	12

沖縄における施設・区域の返還に関する日米共同報道発表

日米共同報道発表のポイント

(1) 普天間飛行場

- ・普天間飛行場の代替施設を辺野古に建設することが唯一の解決策であることを再確認。
- ・日本側の必要な措置及び手続の完了を条件として、同飛行場の東側沿いの土地(約4㏊)の平成29年度中の返還実現を目指す。

(2) キャンプ瑞慶覧のインダストリアル・コリドー

- ・宜野湾市が、国道58号と旧西普天間住宅地区をつなぐ高架式道路の設置工事を平成29年度中に開始できるよう共同使用の合意を行うことで一致。平成28年に開始される調査等の必要な作業のための同市による立入りを両政府が支援。
- ・統合計画に従ってインダストリアル・コリドー返還のための取組を継続する意図を改めて表明。

(3) 牧港補給地区

- ・国道58号を拡幅し交通渋滞を緩和するため、同国道に隣接する土地(約3㏊)について、日米両政府による必要な措置及び手続の完了を条件に、平成29年度中の返還を実現するために速やかに必要な作業を開始することで一致。
- ・統合計画に基づく牧港補給地区の全面返還に向けた積極的な取組を継続することを確認。

(4) 北部訓練場

- ・北部訓練場の過半の返還の意義及び緊急性を再確認。迅速な返還に必要な条件を満たすとのコミットメントを再確認。

沖縄における施設・区域の返還に関する日米共同報道発表(3事案の概要)



若宮防衛副大臣の宜野湾市・浦添市訪問

平成 27 年 12 月 9 日、若宮防衛副大臣は沖縄を訪れ、同年 12 月 4 日に発表された「沖縄における施設・区域の返還に関する日米共同報道発表」について、佐喜眞宜野湾市長及び松本浦添市長に内容を説明し、同発表において示された普天間飛行場の東側沿いの返還予定地、キャンプ瑞慶覧の高架式道路予定地及び牧港補給地区の国道 58 号に隣接する返還予定地を視察しました。

佐喜眞宜野湾市長との会談



若宮副大臣より、宜野湾市から要望のある、市道宜野湾 11 号線整備のため普天間飛行場の東側沿いの土地の平成 29 年度中の返還を実現すべく作業を加速化すること、また、市が要望する返還された西普天間住宅地区と国道 58 号をつなぐ高架式道路建設を平成 29 年度から開始できるよう共同使用の措置を行うこととなった旨を説明しました。

これに対し佐喜眞市長は、「宜野湾市民としても嬉しい限りであり、一つ一つ目に見える形で住民の方々に基地負担軽減を体感できるようにこれからもぜひお願いしたい。」と述べられ、長年、要望をしてきた事案が実現されることについて謝意が伝えられました。

松本浦添市長との会談

若宮副大臣より、国道 58 号線の深刻な渋滞を緩和するため、牧港補給地区（キャンプ・キンザー）の国道 58 号線沿いの土地約 3 ヘクタールについて、平成 29 年度中の返還を実現するため、速やかに必要な作業を開始することとなった旨を説明しました。

これに対し松本市長は、「日米両政府が沖縄県全体の基地負担の軽減を出来るところから、一つ一つやっていくという事だと理解し、深刻化した渋滞解消に向けて非常に歓迎すべき決断だったと評価をしている。」と述べられました。



返還予定地等での測量調査等を開始

- (1) 平成 27 年 12 月 17 日、普天間飛行場の東沿いの土地の返還条件である巡回道路等の移設工事に着手（写真左）。工事の完成は平成 28 年度末を予定。
- (2) 平成 27 年 12 月 17 日、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地の住宅等既設建物解体工事の一環として、防塵ネットの設置及び既存建物の確認に着手。住宅等既設建物解体工事の完了は平成 28 年度末を予定。
- (3) 平成 27 年 12 月 21 日、牧港補給地区の一部返還予定箇所において、沖縄防衛局及び南部国道事務所による返還予定箇所の測量調査に着手（写真右）。



普天間飛行場の東側沿い返還予定地内の巡回道路等の移設工事



牧港補給地区の一部返還予定箇所での測量調査を開始

若宮防衛副大臣の石垣市訪問について

平成27年11月26日、若宮防衛副大臣は石垣市を訪問しました。

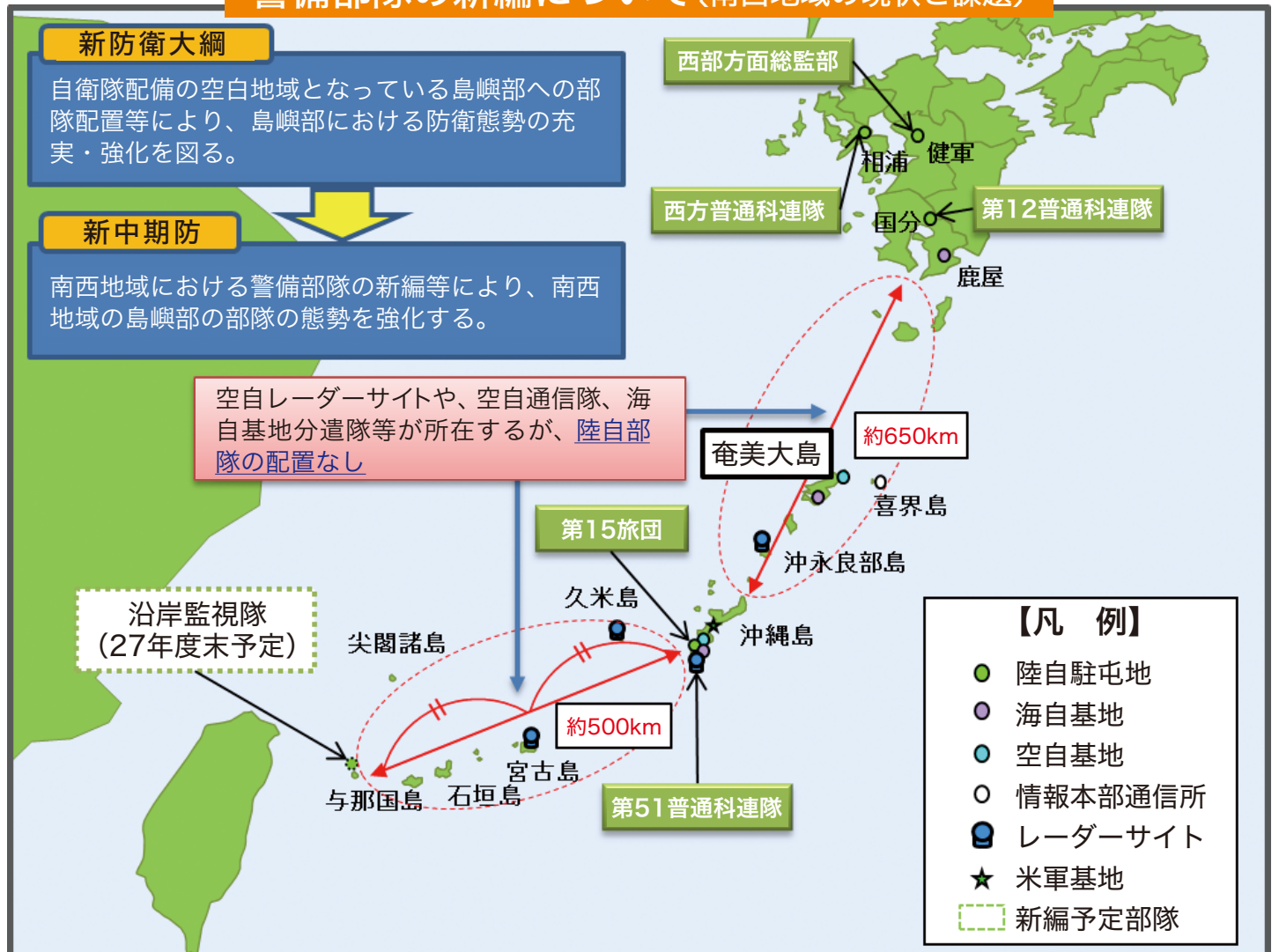
中山石垣市長と面談した際、南西地域の安全保障環境が厳しさを増している中、島嶼部の安心・安全の確保が重要な課題となっていることを踏まえ、石垣島への陸自警備部隊等の配置について申入れを行いました。この申入れ等に対し中山石垣市長は、「我が国の安全保障環境、我が国の防衛・防災上の必要性については、十分理解しており、今後、受け入れるかどうかにつきましては、詳細を議会・市民の皆さんにオープンにして、議論を重ねた上で判断していきたい。」旨発言されました。

今後、防衛省としては、自衛隊配備の空白地域となっている石垣島に速やかに部隊を配置できるよう、自治体ともよく相談しながら、地元への丁寧な説明に努めて理解を得ながら進めていく考えです。



中山石垣市長との面談の様子

警備部隊の新編について(南西地域の現状と課題)



KC-130 空中給油機の普天間飛行場から岩国飛行場への移駐完了後の飛行状況について

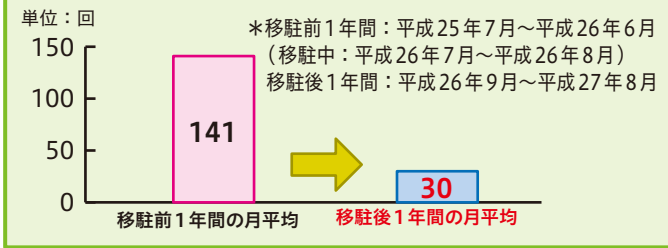
沖縄防衛局では、平成 26 年 8 月に移駐が完了した KC-130 空中給油機の普天間飛行場から岩国飛行場への 15 機全機の移駐の効果を検証するため、同機の移駐完了後 1 年間(平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月)における普天間飛行場への飛行状況を取りまとめ、平成 27 年 11 月 17 日に公表しました。防衛省としては、沖縄の負担軽減に向けて、MV-22 オスプレイの県外訓練等の推進などに取り組んでいるところであり、引き続き、普天間飛行場の周辺住民の皆様の生活に最大限配慮がなされるよう、米軍に対し働きかけていく考えです。なお、公表した内容は、沖縄防衛局ホームページに掲載しています。

【沖縄防衛局ホームページアドレス：<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>】

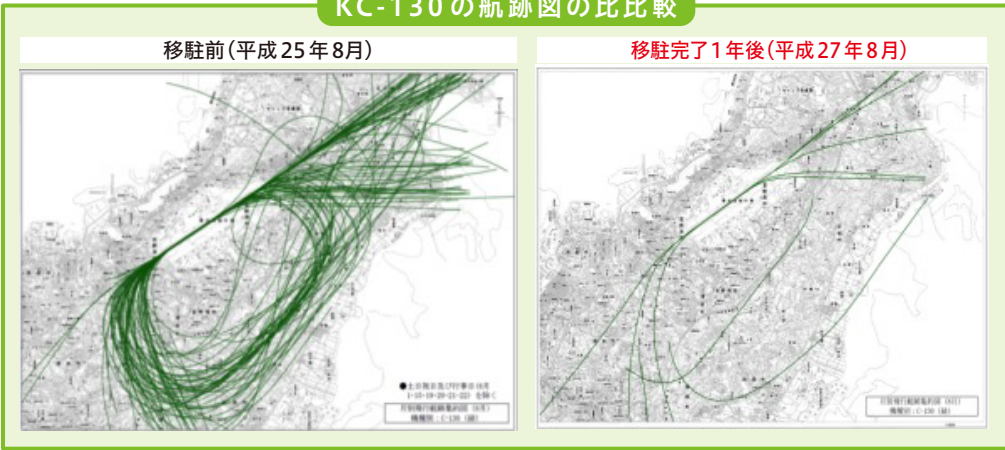
公表資料（離着陸等回数及び航跡図）

- 平成 26 年 8 月、KC-130 の普天間飛行場から岩国飛行場への 15 機全機の移駐が完了し、普天間飛行場に所在する固定翼機の大部分が沖縄県外に移駐しました。
- 移駐完了後 1 年間の同機の普天間飛行場における離着陸等回数には大幅な減少が見られ、同機の移駐は確実に沖縄の負担軽減に資するものと考えておりますが、防衛省としては、引き続き、普天間飛行場の周辺住民の皆様の生活に最大限配慮がなされるよう、米軍に働きかけていく考えです。

KC-130 の普天間飛行場における離着陸等回数の推移



KC-130 の航跡図の比比較



※1 移駐開始：平成 26 年 7 月 15 日
移駐完了：同年 8 月 26 日

※2 離着陸等回数は普天間飛行場周辺に設置している高所カメラの映像から確認できたもの。また、離着陸等回数及び航跡図のいずれも、土日、祝日(米軍の祝日を含む。)及び地元行事日等は含まない。

米軍再編に係るグアム等への航空機の訓練移転

米軍再編に係るグアム等への航空機の訓練移転は、平成 22 年 5 月 28 日の「2+2」共同発表に基づく、嘉手納飛行場における更なる騒音軽減に資する措置であり、今般、平成 27 年 9 月 8 日～10 月 7 日までの 30 日間、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練をグアム等へ移転して実施しました。

訓練規模 岩国飛行場及び三沢飛行場所属→グアム等 FA-18×10 機程度、EA-18×5 機程度等 人員 440 名程度

○訓練移転期間中における嘉手納飛行場の平均騒音発生状況

項目	騒音測定場所	
	嘉手納基地内(国道側) 北谷町	嘉手納基地内(県道側) 沖縄市
岩国飛行場及び三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成 27 年 9 月 8 日～10 月 7 日	89.6W	89.7W
平成 26 年度平均	91.0W	92.1W
平成 18 年度平均(訓練移転開始前)	94.0W	94.2W

○訓練移転期間中における外来機と考えられる航空機の 1 日当たりの平均離着陸等回数(0600-1800)

項目	戦闘機	戦闘機以外	合計
岩国飛行場及び三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成 27 年 9 月 8 日～10 月 7 日	0 回	20.2 回	20.2 回
平成 26 年度平均	9.3 回	19.9 回	29.2 回
平成 22 年度平均(目視調査開始)	21.1 回	17.4 回	38.5 回

那覇市国際通りでの生活指導巡回を視察

平成27年12月4日、在日米軍沖縄調整事務所の協力を得て、沖縄防衛局及び外務省沖縄事務所の担当者が、那覇市国際通りで在沖米軍が実施している「生活指導巡回」の様子を視察しました。当日は、各軍から選ばれた8名の軍人が2つのチームを構成して、那覇市国際通り及びその周辺を徒歩で巡回しました。

生活指導巡回は、在沖米軍による自主的な取組の一つで、米軍人によるトラブルの未然防止などを目的として、金曜日、土曜日及び米国の祝日の夜間に行われています。

この巡回は、かねてから米軍基地が所在する場所を中心として行われており、各軍から任命された士官及び上級下士官のボランティアにより行われています。

このような取組を継続的に行うことにより、米軍人のトラブル未然防止を図りつつ、米軍と地域社会とのよりよい関係の構築にも寄与するものと考えております。



那覇市国際通りを巡回する様子

沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会



合同協議会の様子

平成16年8月に発生した米海兵隊ヘリコプターによる沖縄国際大学への墜落事故を機に、在沖米軍関連事故が発生した際、現場における関係機関の連携強化を図り、政府一体としての危機管理を実現するために設置された、「沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会」の23回目の会合が、平成27年12月11日、外務省沖縄事務所において開催され、各種訓練の実施結果などについて確認しました。また、今後も各種訓練等を計画的に推進することにより円滑かつ迅速な米軍事故対応が行われるよう、認識の共有を図るとともに、関係機関の連絡・協力体制の強化を図っていくことが了承されました。

ノルウェー国防大学 グローニン研究員の研修について

平成27年11月20日、ノルウェー国防大学のビョルン・グローニン研究員が研修のため来局しました。

グローニン研究員は、ノルウェー国防大学及びノルウェー防衛研究所で博士号取得のため研究を行っており、研究内容として、東アジアにおける現代の国際的パワーシフト及び付随する安全保障課題に対する日本の防衛政策及び運用がどのように順応しているのかを分析しているとのこと。

当局は、森企画部長が南西地域における現状及び当局の業務概況説明を行いました。



ノルウェー国防大学 グローニン研究員



森企画部長(左)による概況説明

宜野湾市喜友名地区学習等供用施設がリニューアル

平成 27 年 11 月 22 日、「喜友名地区学習等供用施設」の改修祝賀会が開催され、喜友名区民及び宜野湾市の関係者を始め、多くの方々が出席し完成を祝いました。

本施設は、かねてから喜友名区民の集会、レクリエーションなどの健全なコミュニティ活動の育成や災害時における緊急避難場所として広く活用されていたところですが、今般、「防衛施設周辺整備統合事業」により、バリアフリーに対応した施設としてリニューアルされました。

祝賀会において、佐喜眞宜野湾市長から「区民の念願である改修整備が行われ、障がい者や高齢者へ配慮した施設となったことで、各部屋がとても利用しやすい環境となりました。今後も地域の皆様の憩いの場、地域コミュニティ活動の拠点として大きな役割を果たすものと期待しております。」と祝辞がありました。

当局としても、改修されて生まれ変わった本施設が、引き続きコミュニティ活動の拠点として有効的に活用されることを期待しております。



バリアフリー化したトイレ

知念 喜友名自治会長のひとこと

防衛施設周辺整備統合事業により、喜友名地区学習等供用施設がバリアフリーに対応した施設としてリニューアルされ、特に、1階の学習室については、改修前に比べて広いスペースが確保され、地域のお年寄りへのミニデイサービスをはじめ、自治会員による様々な活動の場、コミュニケーションの場として、高齢者、弱者にとっても優しい施設となり区民に大変喜ばれています。

宜野湾市上大謝名区に学習等供用施設が完成



平成 27 年 11 月 14 日、「上大謝名地区学習等供用施設」の落成式典が開催され、上大謝名区民及び宜野湾市の関係者を始め、多くの方々が出席し完成を祝いました。

本施設は、上大謝名区民のコミュニティ活動拠点、また伝統芸能の発展などを図る場とともに、災害時における緊急避難場所として、「防衛施設周辺整備統合事業」により整備されたもので、区の行事や総会等を行う舞台を整えた集会室、婦人会や老人会等がサークル活動等を行う会議室、調理実習室等を兼ね備え、バリアフリーにも対応しています。

式典において、佐喜眞宜野湾市長から「区民の皆様の人と人との結びつきが、ますます深まり、今後も自治会活動がより活発に展開されますよう、そして地域に密着した各種活動の場、憩いの場として広く活用され、上大謝名自治会の地域共同体づくりの拠点となりますよう、心から願っております。」と祝辞があり、また、「財政的補助につきましては沖縄防衛局に対し、心から感謝申し上げます。」と当局に対し御礼の言葉を頂きました。

当局としては、本施設が有効に活用され、上大謝名区や宜野湾市の芸能そして年中行事（地域文化）の継承の上で大きな役割を果たしていくことを願っております。

大城 上大謝名自治会長のひとこと

新築された上大謝名地区学習等供用施設は「子供達への大きな宝物」、交流の拠点づくりとして地域の夢でありましたが、防衛施設周辺整備統合事業で整備していただき、立派に完成致しました。子供達の遊び場、高齢者の生きがいづくりの場とした最高の位置付けのもと、地域の交流・発展に大きく寄与するものと確信しています。

地域内外の利用も合わせて大事に活動して行きたいと願っています。

航空自衛隊那覇基地 エアフェスタ2015開催

平成27年12月13日、昨年全国各地で行われた航空祭の最後をかざる航空自衛隊那覇基地「エアフェスタ2015」が開催され、県内外の航空ファンや家族連れなど約1万5千人が訪れ、大盛況となりました。

午前8時にF-15及びT-4によるオープニングフライトで開幕し、その後、F-15機動飛行、ヘリコプター航過飛行、合同航過飛行等の展示飛行が行われ、訪れた皆さんからは盛んな拍手と歓声があがっていました。

また、航空機などの装備品展示では、陸・海・空自衛隊の9機種、12機の航空機やペトリオットミサイルなどの展示が行われました。なかでも、戦闘機の操縦席に座れる操縦席体験は特に人気が高く、長蛇の列が途切れることはありませんでした。

アトラクション会場では、基地所属隊員によるエイサーや太鼓の演舞、米国空軍太平洋音楽隊や南西航空音楽隊による演奏等があり、多くの家族連れが演舞や演奏を楽しんでいました。

(寄稿：航空自衛隊第83航空隊基地渉外室)



オープニングフライト



米国空軍太平洋音楽隊による演奏



長蛇の列が途切れなかった戦闘機の操縦席体験



基地所属隊員によるエイサー演舞



サンタとトナカイもお出迎え

2015 嘉手納スペシャルオリンピックス大会開催

平成 27 年 11 月 7 日、米空軍嘉手納飛行場において、2015 嘉手納スペシャルオリンピックス大会が開催されました。嘉手納スペシャルオリンピックスとは、障がいのある方々のスポーツイベントで、嘉手納飛行場の米空軍第 18 航空団が主催運営しており、平成 12 年に第 1 回大会が開催され、今大会で 16 回目となりました。

今回は、県内 25 の特別支援学校の生徒さんや作業所で働く皆さんなど、約 900 名のアスリートが参加しました。沖縄防衛局は、沖縄県、沖縄市、嘉手納町、北谷町とともに、同大会の協力団体となっており、当日は井上局長もアスリートへのメダルプレゼンターを務めました。

また、この大会を支えるため、県内の米軍基地に所属する軍人・軍属や在日米軍従業員のほか、航空自衛隊の隊員など、約 2500 名のボランティアスタッフに加え、今回初めて当局の職員も通訳等のボランティアとして参加しました。



井上局長からメダルを贈呈



写真提供：米空軍第 18 航空団
狙いを定めてシュート



左から US バディ、アスリート、通訳ボランティアを務める当局職員



写真提供：米空軍第 18 航空団
颯爽とテープを切るアスリート

通訳ボランティアに参加して

最初のうち戸惑いや遠慮がちな様子が見られた日本人アスリートと US バディですが、周りからの多くの声援を受けながら一緒に競技を重ねていくにつれ、緊張もほぐれ、昼食時には、日米のスーパーヒーローについて熱く語り合うなど、皆さん笑顔で会話を楽しんでいました。

今回、通訳ボランティアとして、このような笑顔の輪に加わることができ、私にとっても楽しい 1 日を過ごすことができました。

地方調整課 連絡調整室 井手上 孝介



県内各地でクリスマスイベント開催



キャンプ・シュワブ

平成27年12月5日、キャンプ・シュワブの近隣に所在する久辺小学校の児童を招いて、クリスマスチルドレンディが開催され、約150人の児童が参加しました。

冒頭、オドム司令官が、「今日は私たちのクリスマス・パーティーに来て頂き、皆さんを歓迎します。50年以上に渡るキャンプ・シュワブと皆さんの友好の証でもあり、どうぞ楽しんでいって下さい」と挨拶を述べました。嘉陽辺野古区長は、「34回目を迎えられたのも、辺野古区とキャンプ・シュワブの友好な関係からなる賜物です。今年から久志や豊原の子供たちも招待していただき、このような機会を子供たちに提供してくれたオドム司令官やほかの皆さんに感謝します」と謝辞を述べました。昼食には200食分のホットドッグやポテトチップス、また、辺野古区が用意した沖縄そば400食が振る舞われました。

最後には、全児童がサンタから直接クリスマスプレゼントを受け取り、歓喜の中、一足早く迎えたクリスマス・パーティーを終えました。



クリスマスケーキを配布するオドム司令官



サンタからプレゼントを受ける子どもたち



嘉手納飛行場

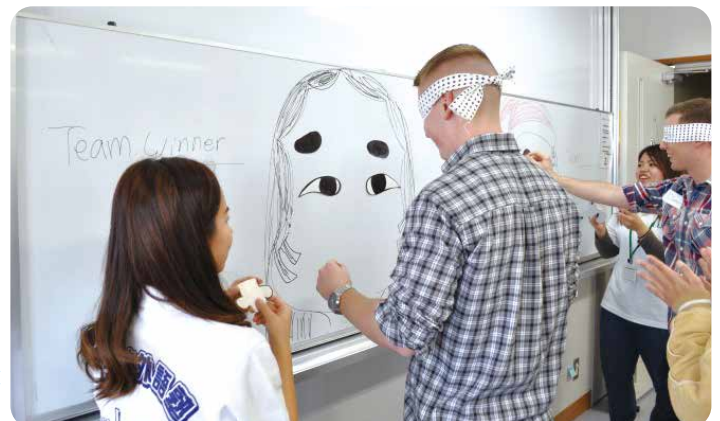
平成27年12月18日、嘉手納町立嘉手納外語塾において、「お互いの国のお正月やクリスマスを紹介しよう&クリスマス会」と銘打ち、米空軍第18航空団及びその他の部隊所属の米軍人等と同外語塾の生徒による文化交流が開催されました。

双方で持ち寄ったジュシー（沖縄の炊き込みごはん）やラザニアなどの日米の家庭料理やデザートを食べながら歓談したり、英語のかたや福笑いなどで日米間の交流を深めました。

皆さん童心に返ったように、時間を忘れてゲームを楽しんでいました。



英語のかたをしよう！



福笑いうまくできたかな？

嘉手納飛行場（在沖米海軍）



平成27年12月24日、嘉手納町立屋良幼稚園で行われていた「クリスマス会」に、嘉手納飛行場からサンタクロースとトナカイがやってきました。

クリスマス会当日、突然現れたサンタとトナカイに子どもたちはびっくりした表情を見せていました。

嘉手納飛行場のサンタクロースは毎年、在沖米海軍艦隊活動司令部の協力の下、当園を訪ねています。

子どもたちは、サンタへ「好きな食べ物」や「好きな色」など興味津々に質問し、サンタからの英語での回答を皆で考えるなど楽しんでいました。

また、園児全員がサンタやトナカイと握手したり、一緒に写真を撮るなど憧れのサンタとふれあいました。



サンタやトナカイと一緒に記念撮影

牧港補給地区

平成27年11月27日、牧港補給地区において、クリスマスパレード&クリスマスツリー点灯式がありました。

クリスマスパレードには、牧港補給地区のフェイデレム司令官と地元浦添市の松本市長を先頭にイルミネーションで飾り付けられた軍用車両や思い思いのコスチュームに身を包んだ日米の子ども達が参加しました。

高さ約6mのクリスマスツリーの点灯式では、基地内キンザー小学校の合唱隊と陸上自衛隊第15音楽隊のコラボレーションによるクリスマスキャロルが花を添えました。



パレードに参加するフェイデレム司令官(左)と松本浦添市長(右)



クリスマスツリーの前で演奏する陸上自衛隊第15音楽隊

海上自衛隊 第5航空群
音楽の夕べ



出演
海上自衛隊
佐世保音楽隊
海上自衛隊
第5航空群エイサー部

2016年**1月23日(土)**
開場:18:00 開演:19:00
場所 **那覇市民会館**
入場無料(要チケット)

お問い合わせ先:海上自衛隊第5航空群広報室
TEL:098-857-1191(内線5231) E-mail:5aw-ckouhou@inet.msdf.mod.go.jp
HP:www.mod.go.jp/msdf/naha
主催:海上自衛隊第5航空群
協賛:沖縄地方協力本部、一般社団法人沖縄海友会、沖縄二火会



海上自衛隊沖縄基地隊
ふれあいコンサート

平成28年**1月24日(日)**

開場:午後2時
開演:午後3時~5時
会場:うるま市石川会館
演奏:海上自衛隊佐世保音楽隊
入場料無料(要整理券)

共催:海上自衛隊沖縄四樹の会

整理券配布場所:うるま市役所 うるま市役所石川支所
沖縄地方協力本部名護地域事務所(名護市)
沖縄地方協力本部沖縄募集案内所(沖縄市)
沖縄防衛協会 海上自衛隊沖縄四樹の会
その他

お問い合わせ:海上自衛隊 沖縄基地隊 総務科
098-978-2342(内線210)
http://www.mod.go.jp/msdf/onisa/

※ 満員になりしだい入場をお断りさせていただく場合がございます。
※ 最寄の公共交通機関をご利用のご来場をお勧め致します。



【お知らせ】米軍基地での勤務を希望される方へ

在日米軍従業員の事前募集受付中!

応募は24時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです!
HPアドレス:<http://www.lmo.go.jp> **LMO** 検索 で検索できます。

- 応募資格** 沖縄県在住の満18歳以上の方
- 応募方法** インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効です。
 - インターネット:エルモのHP (<http://www.lmo.go.jp>) を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。(スマートフォンはインターネット応募と同様)
 - 窓口応募:指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
 - 応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。
- 受付時間**
 - インターネット:年中24時間受付中
 - 窓口応募:受付時間は午前9時~午後5時30分(土曜・日曜、祝日及び12月29日~翌年1月3日を除く。)

受付窓口・お問合せ先

LMO 独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ) 沖縄支部 管理課
嘉手納町字屋良1058番地1(道の駅「かでな」隣り) TEL:(098) 921-5532



「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
連絡先:沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室
メールアドレス: houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp